こころコンサート

こころコンサート テーマ曲

Your Hand, My Heart

緒方洋子　作詞
出田敬三　作曲
鈴木健二　監修

わたしに　あなたの手を
あなたに　わたしの心を
My Heart to You　Your Hand to Me
My Heart to You　Your Hand to Me

愛は限りなく　愛は限りなく
My Heart to You　Your Hand to Me
愛は限りなく　愛は限りなく
My Heart to You　Your Hand to Me

愛は高まって　愛は高まって
My Heart to You　Your Hand to Me
My Heart to You　Your Hand to Me
My Heart to You　Your Hand to Me

にえのいう　にんむり
添を温の手　春風の
合ちかち分　ういただよ中
合めき求

にに　わたし
たしあ　My Heart to You
My Heart to You

にきく道船　太陽
開らびと心
よ気元
鉄河銀
宙宇

のを　なむ
りか　の温
ちま　春
ちや　分
たさ　中
なせ　求

をを　の手
の心　たし
Your Hand to Me　あな
Your Hand to Me　わた

かようのの　んなち
うそろち　乗たた
あたした　たなあ
さわあ

心で歌い、心で聞く。心と心をつなぐ「こころコンサート」です。

来たる四月二十五日、県立劇場で「こころコンサート」が開かれます。これは、県下二十二の地域の障害者と健常者が集まって、一年間練習してきた音楽の成果を発表しようとするものです。総勢千六百人が三百人のボランティアの応援を得て、同じステージに立つこのコンサートは、全国でも初めての試みです。きょうは、企画制作者である鈴木健二館長に「こころコンサート」に挑戦する思いを語っていただきました。

風・インタビュー

鈴木健二（すずきけんじ）

熊本県立劇場館長

障害者と手を取り合う二十二の「場」を作り、一年間の練習で、心を育てる「時間」を持つ。

――「こころコンサート」の意義はどんなところにあるのですか？

障害者のコンサートはたくさんあるのですが、客席はいつもガラガラというのが日本の実情です。障害者と健常者が一緒に作る今回のコンサートは、日本では初めての試みです。

障害者を理解するには、まず、障害者と健常者が手と手を取り合う機会を作ることから始めねばなりません。このために一年間の準備の末に、県下で二十二カ所の合同練習の「場」を設けました。そこでの練習に、一年間という「時間」を持てたことに大きい意味があるのです。